

出張報告

出張目的：韓国スポーツ界におけるユニフォームの色彩に関する調査。

場 所：韓国城南市第2総合運動場及びソウル市

期 間：2007年8月19日～22日

総合運動場の施設を見学したが、時期的にオフシーズンに当たり、調査対象になる事例が少なかった。

数少ない事例の中で、韓国（世界）で最強の「ショートトラック・スピードスケート」チームの練習を見学したが、ユニフォーム、練習着など日本におけるデザイン、色調と同じであり、違いを見つけることが出来なかった。

ユニフォームについては、現実的には、国際大会などのユニフォームを見ても、その大会の協賛企業の製品を使用している場合が多く、色彩的には国旗の色を基調としている場合が多い。（昨年日本で開催されたバレーボールの国際大会では、日本製のユニフォームが使用された。）

結論を出すのはまだ早いですが、日韓においてはほとんど差が見られなかった。

また、サッカーの競技場を見学したが、競技場及び諸施設などもチーム・カラーを全面に表していた。

雑感として、市街地を移動中に観た景観では、街全体がカラフルであり、原色に近い色遣いであった。なかでも戸建ての屋根、ガソリンスタンドなど青色系が多く感じられた。

公共の自動車（バスなど）は、原色が多く目立つ存在である。自家用の自動車においては、黒色が圧倒的に多く、赤系はほとんど見る事がなかった。

今後は、従来のオレンジ系のアンツーカー陸上競技場と最近増えているブルー系のアンツーカーとを比較研究をしたい。

「アンツーカーの色の違いと選手の感覚について」

・利用者の感覚として

- 1) 走った感覚……季節、時間帯、距離感など
- 2) 記録（タイム）について……向上？
- 3) 従来のアンツーカー、土との比較
- 4) 設置者、施工業者の意識、ねらいなど

矢野 博